

## 学校規模等の適正化の方策 主な意見まとめ

### I 大規模校、小規模校に共通する方策

#### 1. 学校選択制

- ・中学生については、市全域をいくつかのブロックに分け、その中から選択してはどうか。
- ・全学的な選択が難しい場合、隣接する学校の中から選択する方法がある。また、中学生は市全域から選択、小学生はブロックの中なかから選択するなど、様々な方法がある。
- ・立地的に選択されない学校があるのではないか。選択されない場合、さらに小規模になってしまふ。

#### 2. 調整区域の設置

- ・子ども会活動に支障をきたしたり、兄弟姉妹で別の学校に通学するという事態が生起するなど、課題もあり、慎重に検討すべきである。

### II 大規模校に対する方策

#### 1. 学校施設面、管理運営面の充実

- ・校舎を大きくするしか方法がないのではないか。
- ・「部屋が足りない」「設備が足りない」「先生の数が足りない」「予算が足りない」というのはぜひとも整えるべきである。
- ・女子職員のトイレや体操服を着替える部屋、同一学年の分離はすぐにも対応すべきである。

#### 2. 学校の分離新設

- ・新しく学校を建てて、校区を2つに分けるという方策が取れるのであれば問題は解決する。
- ・新たな学校用地や予算が必要であり、現実には難しいのではないか。
- ・学校の分離新設を検討する大前提として、設備の充実がどうしてもできない場合に限るべきである。

#### 3. 通学区域の変更

- ・簡単にはいかないだろうが、通学区域を変更するしかないのではないか。
- ・コミュニティ重視というのは分かるが、通学区域を変更するのも1つの案ではないか。
- ・地域住民等の反対をおしてまで通学区域を変更することは現実的ではない。
- ・八尾市全体で通学区域の変更を考えなければ難しいのではないか。
- ・中学校であれば遠いところでも通学できるのではないか。また、専用バスなど、交通手段さえ確保できれば、通学区域を広げることは可能ではないか。

### III 小規模校に対する方策

#### 1. 施設一体型の小中一貫校

- ・小中一貫校にして、モデル校にするのが一番いいのではないか。

#### 2. 小規模特認校制度

- ・定員の問題はあるが、1つの方策ではないか。例えば、スポーツに力を入れることなどを掲げて、選択してもらう方法があるのではないか。
- ・大規模校の保護者、児童生徒が小規模校への入学を希望する場合、その小規模校を選択できるという方法があるのではないか。

#### 3. 学校の統廃合

- ・小規模校を解消するためには、学校の統廃合を考えるのが一番である。その際、通学上の安全を確保する方法、例えば、スクールバス等についても考えなければならない。
- ・学校の統廃合は、地域ごとにコミュニティ単位で話し合っていくしかない。
- ・自治会活動等が関係しているので、隣接する地域であっても合意を得るのは難しい。特に、交流のない地域としては困難である。

#### 4. 通学区域の変更（大規模校に対する方策に同じ）

### IV 学校規模等の適正化を実施する上での留意点

- ・児童生徒の通学上の安全を確保しなければならない。
- ・保護者や地域住民等の意見を十分に聞きながら進めるべきである。
- ・地区福祉委員会や自治振興委員会等、地域活動に支障が出ないよう配慮すべきである。
- ・人権尊重の視点をもって取り組むべきである。
- ・市のまちづくりに関する方策についても検討すべきである。
- ・学校規模等の適正化について定期的に議論するとともに、取組みについても検証すべきである。